

コンプライアンス委員会の活動報告

コンプライアンス委員会が開催され、コンプライアンス活動の実施状況が報告されました。

記

1. 開催日と場所

平成25年10月28日（月） 川西倉庫本社 役員会議室

2. 出席者

コンプライアンス委員会委員長
取締役、コンプライアンス・オフィサー11名
監査役4名
コンプライアンス委員会事務局長 計17名

3. 議事内容

- 1) 関税法等のうち、通関実務勉強会を開催し、税番分類の実務、NACCSシステムの概要と操作、他法令手続きについて説明を行った。 (7月 阪神)
また、保税制度の概要、一般的規制、保税地域における具体的な処理手続き、保税運送やAEO制度について、支店で勉強会を開催した。 (8月26日 阪神)
各所においては、保税地域への入出構における声かけ運動や就業時以外の施設管理など貨物保全措置や保税運送承認貨物情報取扱要領書について再確認を行った。 (7月・8月 阪神、京浜)
- 2) 倉庫業法のうち、倉庫業の適正な運営を図るべく、倉庫寄託契約や倉庫寄託約款について、支店で勉強会を開催し確認を行った。 (9月24日 阪神)
また、倉庫実務上の留意点や事故事例の防止策など倉庫業務に携わる実務者に必要な知識習得のため、倉庫業務フォローアップ研修会に参加し確認を行った。 (9月27日 阪神)
- 3) 関税暫定措置法のうち、AEO通関業者等が第8条に規定する加工再輸入減税制度を利用して行う輸入申告の減税手続きの簡素化について資料をもとに説明を行った。 (8月28日 阪神)
また、不備のある原産地証明書等の取扱いについて説明を行った。 (9月11日 名古屋)
- 4) 食品衛生法のうち、法律の概要および輸入される食品が食品衛生法に適合していることの確認や不適合品における破棄、積み戻しなどの措置等について説明し、輸入食品の安全確保の取り組みについて再確認を行った。 (7月8日・10日 名古屋)
- 5) 植物防疫法のうち、植物検疫の現状について、輸入植物検疫制度の見直しについて等植物検疫業務研修会に参加し確認を行った。 (9月20日 名古屋)
- 6) 家畜伝染病予防法のうち、畜産物の輸入検査に関する手続きや検査の注意点等について勉強会を実施した。 (9月19日 名古屋)
- 7) 監査室は、継続して業務の適法性などについて各課所の監査を実施している。リスク管理面からみて不適切な事案については、改善指導を行い、フォローアップも実施している。
- 8) 社内のコンプライアンス通報/相談窓口および弁護士事務所窓口（川西CPホットライン）への期間中の利用および通報はありません。

以上